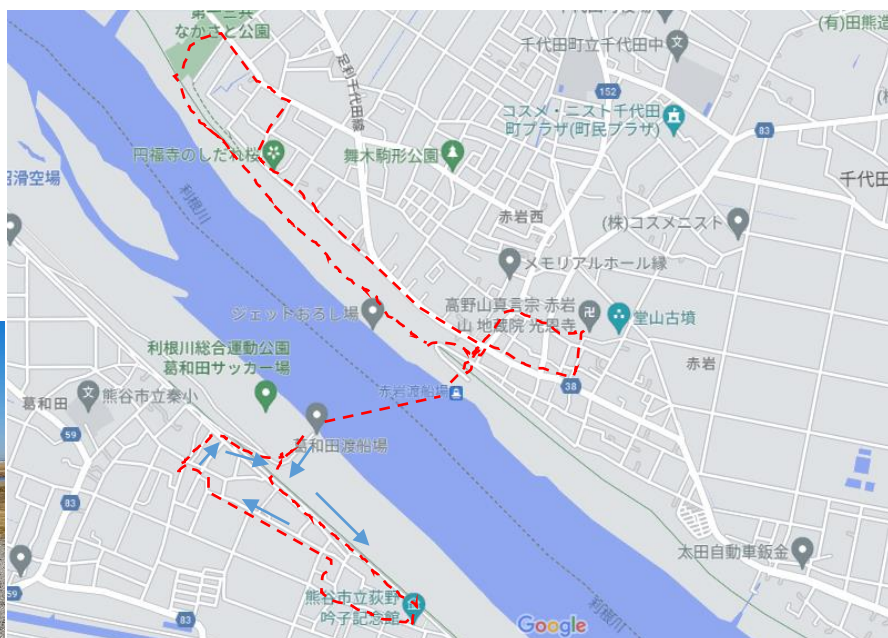


2024年1月度ハイキング「利根川土手（葛和田の渡し）」の報告

2024年1月12日（金）ハイキング（利根川土手）を行いました。
 当初の計画は、「春日部の地下神殿」であったが、1か月前でないと予約できないという事でハードルが高く、変更し「葛和田の渡し」で利根川横断、近辺の散策に変更しました。
 今回の参加人数は12名でした。
 当日は、風もなく穏やか天気でハイキングには最高の日でした。又、近くにあるグライダー滑空場からの発着回数が頻繁にあり、その都度眺め楽しみました。
 今回は、葛和田へは、熊谷駅からバスで、車で、自転車までと分かれたので、ハイキングスタートの挨拶は葛和田の停留所前で実施しました。
 熊谷駅からのバスの利用者は8名で途中から貸し切り状態となりました。



バス組は葛和田に10:30頃到着し、車/自転車組と合流。



今回の散策ルート。荻野吟子記念館からの帰りは土手ルートを歩きました。

バス停留所に「葛和田の渡し」の由来の記載がありました。→



←全員揃ったところで、出発の挨拶。その後、乗船する連絡で黄色い旗を10:40頃揚げました。

↑ 対岸の船が発進し葛和田に向かってくる。

→対岸の船が出たことを確認した後、次の利用者のために旗を降ろす。





↑ 船を待つ



10:47頃 船が到着。

ライフジャケットを着て乗る。



穏やかな川面。雲一つなく遠くの山まで良く見えました。



10:58頃 赤岩渡船場に着く



赤岩渡船場に着いた後、トイレタイムを取った後、「なかさと公園」に向け出発。



11:13頃 土手の近くの道を「なかさと公園」に向け歩く。



途中にあった長良神社。



←↓ 11:25頃 円福寺に到着



一遍上人の像がありました。→



11:35頃「なかさと公園」に到着



早速遊具で遊ぶ

ここで少し早めの昼食にしました。

写真を撮ったが光が強すぎて影が真っ暗になり顔が分からなくなってしまいました。東屋では12名全員が座れず、分れて座りました。



昼食終え 12:30頃 後半に向けて出発。



↑見晴台を後にして、土手に向かう。

土手に出て歩き出してすぐに「海から 160 km」の標識があった。このあたりが利根川の間差点になるようです。

赤岩渡船場に向けて、土手を歩く。



赤岩渡船場近くの交差点を右折し、光恩寺を目指し、13:08頃到着。↓





荻野吟子の像が置かれている。 荻野吟子生家長屋門↓



光恩寺は、関東屈指の真言宗の古刹との事。
何回か火災にあい、現在の本堂は明治 16 年に造営され、同時期に客殿、長屋門が移築されたとの事。昭和 53 年に阿弥陀堂が再建、平成になってから荻野吟子生家長屋門保存修理がなされた。



←堂山古墳の説明文。階段を上がると梵鐘がありました。
時間が来ると自動で鐘を突くようになっていました。

梵鐘の説明→



梵鐘



←13:30頃 光恩寺を後にして、安楽寺に向かう。



←↑ 13:36頃 安楽寺に到着



←安楽寺を後にして、赤岩渡船場にもどる。

13:45頃到着。トイレ休憩後、2月度のハイキングの案内説明を実施。

↓ 2月度ハイキング案内説明後、船頭小屋に行き船を出してもらうよう依頼し、船発着場に向かう。



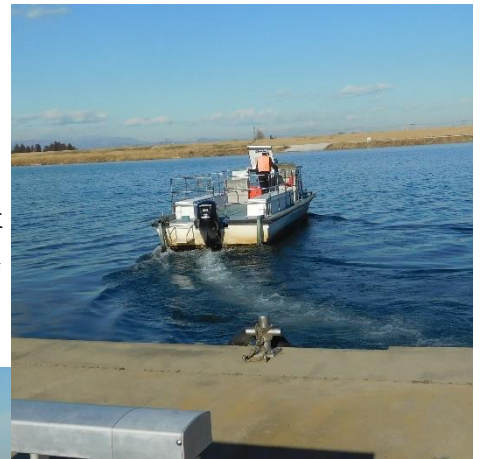
14:00過ぎ 赤岩渡船場を離れる

葛和田バスの停留所から、土手を歩いて荻野吟子記念館に行く時に見たグライダー離陸の様子 ↓



↑14:14頃 葛和田の渡船場に到着。降りる最後の1人。

我々を降ろすと船はすぐ赤岩渡船場に向かう。しかし、私たちが降り、船が離れた後に自転車に乗って来た方が、黄色の旗を挙げたので途中で引き返してきた。良くチェックされている。



↑牽引ワイヤーが外される。

葛和田渡船場から荻野吟子記念館に向かう。その間にもグライダーの発着が行われ、何回も見上げる。後で調べると、「全日本学生グライダー競技大会」が3/4～9にこの妻沼滑空場で開催されることが判った。又、2月には青山/法政/立教対抗グライダー競技会、及び早慶対抗グライダー競技会がこの妻沼滑空場で開催される様で、その練習かもしれない。



←上記のグライダーの発着を見ながら、土手を歩き、荻野吟子記念館に向かう。グライダーに見とれていた人達とだいぶ離れてしまった。



↑土手側から見た荻野吟子記念館。対岸の千代田町の光恩寺にある生家より少し大きらしい。



←14:35頃 荻野吟子記念館に到着。

12名の見学という事で、説明される方も力が入った説明で圧倒されました。そのためつい内部の写真を撮るのを忘れました。



荻野吟子記念館の前で集合写真。



15:20頃 解散式 お疲れ様でした



バス組は 1時間に1本の5:35発のバスに乗り
熊谷駅に向かいました。

今回は、真冬と思えないような良好な天気、又、グライダーの発着も頻繁にあり見上げながらのハイキングで十分に楽しめたと思います。

今回は最後に荻野吟子記念館に行ったのですが、12名の大勢の見学で、案内人の張り切った話に圧倒され、記念館の中の写真撮るのを忘れてしまったのが残念です。従ってここに載せることができませんでした（ただ、荻野吟子の生家がなぜ対岸の光恩寺に移築されたのか説明を聞いて分かりました）。

記念館の前で集合写真を撮って頂いた後、3:00頃記念館を後にして、来た土手を戻って葛和田の渡しの停留所に向かいました。その間にもグライダーの発着が有り近くで見ることができ、暫し見とれていました。

葛和田のバス停留所には少し早く着き、バスを来るのを待ちました。その間に車、自転車で来られた方もいたのでここで解散式を行いました。バス組は15:35発のバスで熊谷駅に向かいました。

結構歩いたので、皆さん最後は少々疲れたようです。お疲れ様でした。

次回は、2024年02月02日 「大井町ハイキング」になります。次回も天気に恵まれ、軽やかに散策できるハイキングになればと思います。

(記:佐々木 泰)